



立西学校だより 12月号の2

尼崎市立立花西小学校

校長 廣井 尋美

行く年（たつ年）～、来る年（へび年）♪

「暑い暑いと言うてたのに、寒い寒いし、お正月さんがもう すぐそこやあ～。あ～ 気ぜわし～」これは、うちの母の12月恒例のことばです。と学校だよりに書いて、早、1年。来る年（へび年）は、母の年周り。年女です。

今年は、花道未生流家元和田高甫さんの話をご紹介します。

「お正月は、家を飾り、年神（としがみ）様という新年の神様をお迎えして、一年を 乗り超えていくエネルギーを蓄える行事です」と。

年始を祝うお正月。この季節は、“陰”極まって“陽”が生じるとき。一見 は寒くて暗い時季ですが、すでに新しい光が芽吹いているから、この“始まるの季節” が、和田高甫さんは一年の中で一番好きなのだそうです。

以下、私が心に響いたことばです。

- ・物事は最初が肝心と言うが、この時季の過ごし方が、一年の全体の流れを決定する。
- ・家を清め、良い言葉を発し、おめでたいものを食べる。
- ・お正月にまつわるものは、すべて家庭の安泰や長寿・福を願う気持ちが込められている。例えば、“松”は“待つ”と通じ、“神様を待つ”ということ。年神様が新年にお越し下さるのを松を飾ってお招きする。
- ・いわれを心にとどめると、より豊かに季節を感じられるのではないか。
- ・しきたり通りでなくても、楽しみながら伝統を取り入れてほしい。等々

このお話を聞き、忙しさを口実にせずに、一年の始まるの時間を、大切に過ごしてみたいなあと思いました。今は、元日でもお店が開いているし、おせちも購入できるし、フローリングが増えたし（畳をあげて大掃除なんて、見かけなくなりました）、随分、年末が楽になったと思います。

ですが、行く年を振り返り、来る年を真摯な気持ちで迎えることは大切なことだと思います。

それぞれのご家庭の年越しの姿があることでしょう。新しいことを迎える時は、誰しもワクワクドキドキするものです。ましてや、新しい年を迎えるのです。「明けましておめでとうございます」「今年もどうぞよろしくお願ひします」などの挨拶を、是非、交わして下さい。そして、子ども達に新しい年を迎えるすがすがしさのようなものを感じさせてあげて下さい。

どうぞよいお年をお迎え下さいませ。（教職員一同）

【2学期終業式にお話しする予定のこと】

- ・お手伝いをしましょう ← どんどん頼んで下さい！
- ・お正月を感じましょう ← 見つけ玉を磨きましょう！
- ・この冬休みはあっという間だよ～ ← 13日間です！（去年は、18日間！）

スタンプラリー40個に届きました！

1年3組 岡田 真歩(3回目)	2年1組 島村 彪我(9回目)
2年3組 通阪 結衣子(2回目)	3年1組 小寺 涼太郎
3年2組 大橋 陸人	3年3組 岩渕 真子
4年1組 綾 桜子(4回目)	4年2組 西川 勇魚(15回目)
5年1組 池上 亜衣(2回目)	5年2組 神戸 まりな(8回目)

12月4日の朝会で表彰しました。

【がんばりのお知らせ♪】

どの子どもも本当によくがんばり、自分のよさを発揮してくれた2学期でした。水泳記録会・夏休み作品展・連合体育大会・音楽会・アルカニックでの音楽会・学校公開・マラソン大会等々、その時その時、たくさんのがんばりを見せてくれました！！

市内・県内・国内での立花西小学校の子ども達のがんばりを紹介します。

- ・読書感想文コンクール 兵庫県学校図書館協議会賞 4年男児
特選 2年女児、4年男児
準特選 5年男児、6年女児
- ・読書感想画コンクール 教育長賞 5年男児
準特選 4年男児
- ・読書感想文全国コンクール「てのひら文庫賞」 佳作 4年男児
奨励賞 2年男児、5年女児
- ・読書感想文全国コンクール「てのひら文庫賞」 学校賞（奨励校として選ばれました）
- ・人権啓発標語 優秀 6年女児（※）
- ・人権書道（硬筆） 入選 2年女児
- ・MOA美術館作品展 書写部会賞 3年女児
絵画銀賞 6年女児
- ・税に関する絵はがきコンクール 税務広報賞 6年女児
- ・理科創意工夫展 佳作 6年男児
- ・児童理科研究発表会 代表発表 6年男児
- ・社会科自由作品展 展示賞 3年女児・4年男児・5年男児

等々。紹介しきれないくらいです。

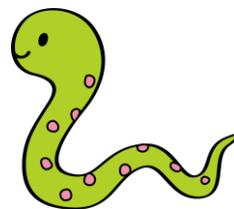
※「自分がね 変われば人も 変わるんだ」

★ 教育長賞は、市内で一番の賞です。

【2012年の「今年の漢字」は「金」】

1995年「震」	1996年「食」	1997年「倒」	1998年「毒」
1999年「末」	2000年「金」	2001年「戦」	2002年「帰」
2003年「虎」	2004年「災」	2005年「愛」	2006年「命」
2007年「偽」	2008年「変」	2009年「新」	2010年「暑」
2011年「絆」	2012年「金」		

財団法人日本漢字能力検定協会が毎年全国公募して、一番票が多かったものになる。阪神淡路大震災の年から始まった。例年、11月1日ごろから一般公募が始まり、12月12日前後に京都清水寺で発表される。その年の日本や世界の世相を表した漢字一字。



【おせちの意味の一例（諸説あるようですが）】～心豊かにお正月～

おせちのひとつひとつに意味があるのは、祝い箸を使って、年神様と共に料理を食べ、込められた思いを心身に取り込んで新年の力にするため。

数の子・・・子宝に恵まれ、子孫繁栄。ニシンの子なので「二親健在」にも通じる。

伊達巻き・・・華やかなという意味の「伊達」。巻き物が書物や掛け軸に通じることから、知識や文化の発達を願う。

栗きんとん・・・栗は「勝ち栗」と呼ばれる縁起もの。「金団」と書き、黄金色で縁起がよく蓄財につながる。

ちよろぎ・・・「長寿喜」「千世呂木」と書き、長寿を願う。

海老・・・腰が曲がるまで長生きできるように。

紅白なます・・・紅白でめでたく、祝いの水引にも通じる。根菜のように根を張るように。

れんこん・・・穴があいていることから、将来の見通しがきくように。

※ 一年の始まりの時間を、大切に過ごしてみませんか。

▼12月7日（金）武庫川河川敷でマラソン大会が開催されました。



▼12月11日（火）代表委員会による集会がありました。
みんなで力を合わせ、仲間集めゲームをしました。



▼学校内は、いろいろな場所でクリスマス模様です。

